

令和3年度子ども大学ふじみ野 実績報告書



子ども大学ふじみ野実行委員会

(文京学院大学・東入間青年会議所・ふじみ野市)

目 次

第1 開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1P

第2 写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3P

【第1 開催概要】

1 開催の趣旨

多様化している現代社会において、「共生社会」の理解と課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけを作るために、小学4年生から6年生までを対象に実施しました。

2 総合テーマ

共に生きる社会の理解

3 令和3年度テーマ

学校では学べない DX最前線！！

4 分野

- (1) ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」
- (2) 地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」
- (3) 自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」

5 日時

- 第1日目：令和3年8月14日（土） 13時15分～15時30分
（13時15分～13時30分の間で入学式を実施）
- 第2日目：令和3年8月21日（土） 13時30分～15時45分
（15時30分～15時45分の間で修了式を実施）

6 方法

Zoomアプリケーションを利用したオンライン開催

7 実施内容

第1日目

●入学式

1. 開式のことば 子ども大学ふじみ野実行委員長 木村 学
2. 開校のあいさつ 子ども大学ふじみ野副学長 椛島 香代
3. 閉式のことば 子ども大学ふじみ野実行委員長 木村 学

●1コマ目【はてな学】

声が出るしくみや音が聞こえるしくみから、音の技術を知ろう！

株式会社 KDDI 総合研究所 先端技術研究所 メディアICT部門 堀内 俊治 先生

●2コマ目【はてな学】【生き方学】

未来の工作

文京学院大学 人間学部心理学科 長野 祐一郎 先生

第2日目

●1コマ目【はてな学】【生き方学】

YouTube と楽しくつきあう方法～メディア・リテラシーって何？～

文京学院大学 人間学部コミュニケーション社会学科 登丸 あすか 先生

●2コマ目【生き方学】

YouTuber になる為にいま出来ること

高橋 亮二 先生 (YouTuber・レディオガガ)

●修了式

1. 開式のことば 子ども大学ふじみ野実行委員長 木村 学
2. 修了者の認定
3. 学長の式辞 子ども大学ふじみ野学長 高畑 博
4. 閉式のことば 子ども大学ふじみ野実行委員長 木村 学

8 参加者数

16人

9 参加費

1人当たり 1,000円 (入学から修了までの参加費)

10 主催

子ども大学ふじみ野実行委員会 (文京学院大学・東入間青年会議所・ふじみ野市)

11 協力

株式会社KDDI 総合研究所

【第2 写真】

●入学式

【開校のあいさつ（副学長）】



●第1日目（1コマ目）



●第1日目（1コマ目）

声が出るしくみ

じつは「のどのしん動」は「ブーやピー」といったブザーのようにふるえているだけで、声にまだなっていません。「のどのしん動」はこんな音です。聞いてみましょう！

「のどのしん動」を口や鼻でひびかせたり、「空気」の出しかたを変えたりして、声になる！

③口や鼻でひびかせて（ブーがあーになる！）
舌、くちびるや歯を使って 空気を出す （ハーがしーになる！）

②のどをふるわせたり （ブーになる！）
ふるわせなかったりする （ハーのまま）

①肺（はい）から空気を出す （ハー）

鼻、歯、舌、口、くちびる、のど（声帯）、気管、食道

空気の流れ

本講義限り 10



ありがとうございました！

質問がありましたら、ぜひどうぞ！

© 2021 KDDI総合研究所

本講義限り 20



●第1日目(2コマ目)

未来の工作



文京学院大学 長野祐一郎



子ども大学ふじみ野@文京学院大学(2015/8/24)

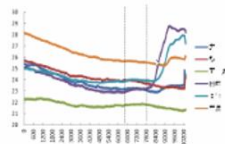


小学4~8年生の子ども達を対象に、「心とからだの関係を学ぶ」をテーマに皮膚温測定実験を実施

子ども大学ふじみ野
(文京学院大学・東入野キャンパス)



課題は子どもようにアレンジし、「罰ゲームつきのすごろく」を用いた。



すごろく実施中は皮膚温が低下し、あがった者から順に皮膚温が上昇する



Unity入門講座



●第2日目（1コマ目）




子ども大学ふじみ野
Youtubeと楽しくつきあう方法
～メディア・リテラシーって何？～

2021.8.21
登丸あすか

Asuka T.

This slide features a large blue circle on the right side and several smaller colored circles (pink, orange, purple) scattered around. The text is centered on the left.



メディア日記

○自分で記入した「私のメディア日記」を見ながら、次の問いを考えてみてください。

Q1. 1日のうちのどのくらいの時間、メディアと接していましたか？

Q2. 友人や家族と連絡する時はどうしていますか？

Q3. もし明日からメディアがない世界になったら、自分の生活はどう変わると
思いますか？

Asuka T.

This slide has a white background with colorful circles in the corners. The text is arranged in a list format.



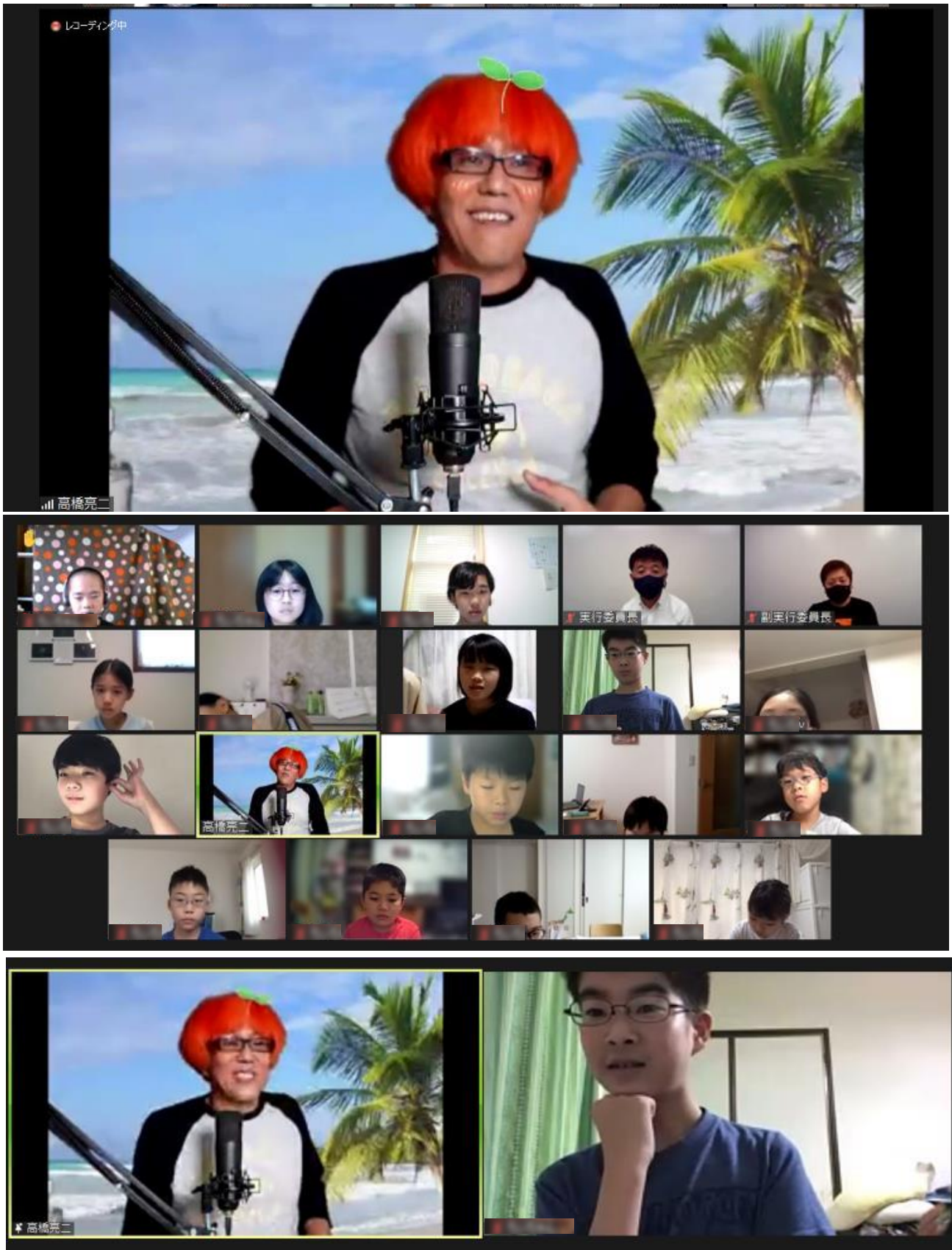
テレビなどマスメディアに対する意見

- ・子どもに必要な番組を用意するべき：子ども向けのドラマやアニメ、ニュース、教育番組など
- ・子どもの登場の仕方：
①子どもは大人より弱いとか、賢くないといった、バカにした言い方・表現の仕方はしない。
②いろんな子どもの存在：男の子も、女の子も、大きな子ども、小さな子ども、太っている子ども、やせている子ども、障害をもつ子ども、外国籍の子どもなど
③子どもが主人公となって意見を言えるような番組が必要

副実行委員長
Asuka T.
実行委員長

This slide features a white background with colorful circles. On the right side, there is a grid of video thumbnails from the Zoom meeting, showing various participants including children and adults. The text is on the left.

●第2日目（2コマ目）



●修了式

【修了者の認定】



【学長の式辞】

【閉式のことば（実行委員長）】



編集・発行

子ども大学ふじみ野実行委員会 事務局
(協働推進課生きがい推進係内)

〒356-8501

埼玉県ふじみ野市福岡一丁目1番1号

電話番号 049-262-8123 (直通)

FAX 049-266-1227

電子メール ikigaisuishin@city.fujimino.saitama.jp